

## VI 実査の結果

### 1 調査票の回収状況

(1) 有効回収数 2,297 票 (平成 25 年度調査 : 2,258 票)

(2) 有効回収率 76.6% (同 : 75.3%)

(3) 内訳

設計数	発送数 ※ 1	返送数 ※ 2	有効 回収数 ※ 3	不能数	不能内訳					
					未発送 ※ 1	宛先 不明 ※ 4、5	未返送	白紙 提出	記入 不備	代理 回答
3,000	2,986	2,337	2,297	703	14	17	632	11	2	27

(77.9%) (76.6%)

※ 1 依頼はがき発送後、調査協力拒否等の連絡があった 14 件には調査票の発送を控えた。

※ 2 返送数には、調査票と督促調査票の重複提出分は含んでいない。重複提出があった 53 件については、先に返送があった票をカウントした。

※ 3 返送数のうち、40 票は「白紙提出」、「記入不備」、「代理回答」のため、有効回収数から除外した。「代理回答」の定義は後述。

※ 4 「宛先不明」など戻り郵便があった場合でも、調査票、督促調査票については毎回発送した。調査票が戻ってきた対象者に督促調査票を送る際は、一度調査票が戻ってきてしまったことを一筆入れて発送した。

※ 5 戻り郵便については、住所を 1 つ 1 つ地図情報と照らし合わせ、住所に方書きが不足 (住民票に方書を登録していないケースや、自治体の方書を非公開としているケースなど) している場合は、発送する際の住所ラベルを修正し、督促調査票を発送した。

#### <戻り郵便の件数>

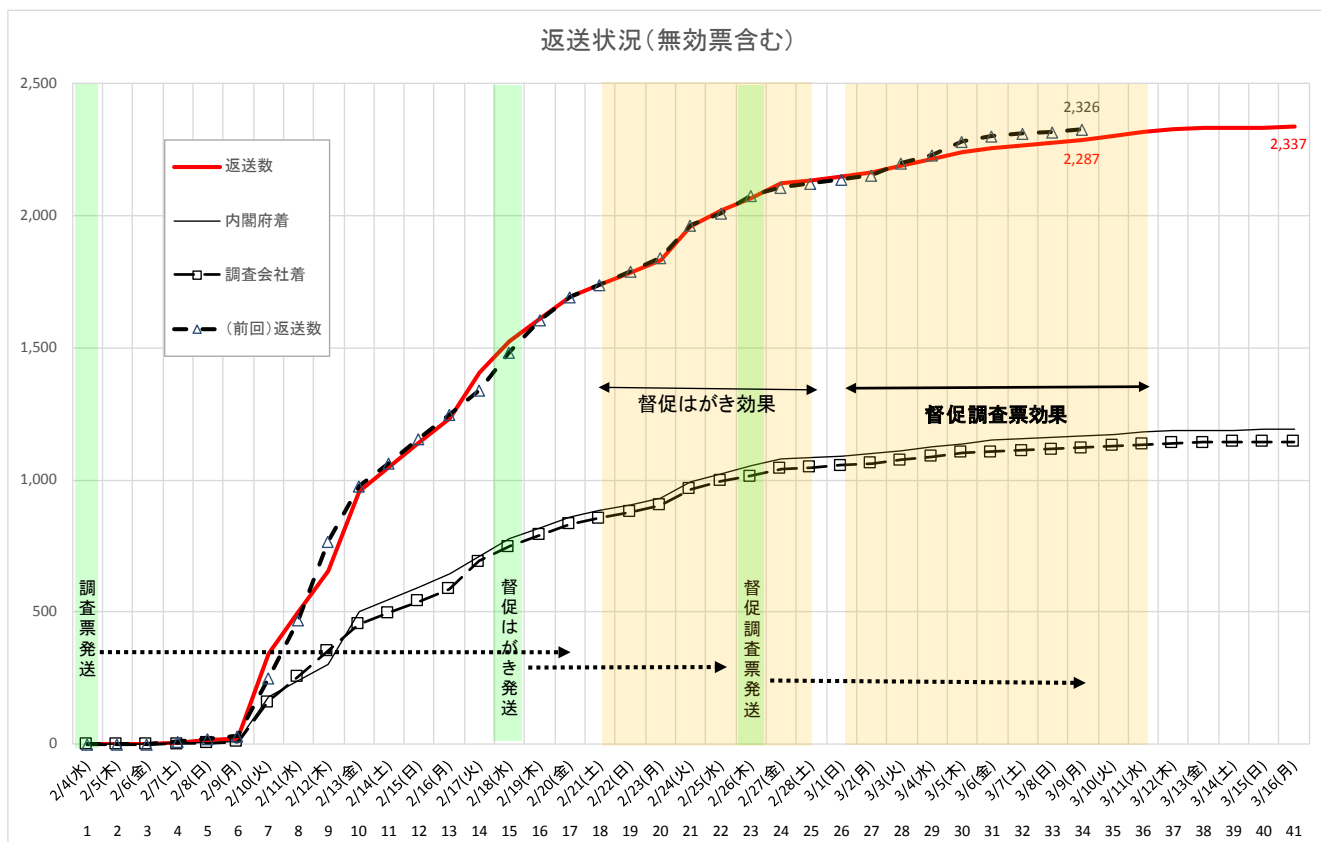
	①依頼はがき	②調査票	③督促調査票
戻り郵便件数	13	21	18

①～③全て戻り郵便	13
いずれか 2 つで戻り郵便	4
1 つだけ戻り郵便	5

計 22 件については、少なくとも 1 度の戻りがあった (25 年度郵送調査 : 27 件)。

## 2 日別返送数

3月16日(月)までに無効票を含め、2,337票の返送があった。ただし、調査票と同一対象の督促調査票の提出(53票)は除外している。



	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
返送数	0	0	0	7	7	8	321	157	158	301	90	90	92	176	119	85	82	47	47	127	61	46	55	12	
累計	0	0	0	7	14	22	343	500	658	959	1049	1139	1231	1407	1526	1611	1693	1740	1787	1834	1961	2022	2068	2123	2135
	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16									
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月									
返送数	12	15	28	24	26	18	9	9	11	17	14	9	5	1	2	2									
累計	2147	2162	2190	2214	2240	2258	2267	2276	2287	2304	2318	2327	2332	2333	2335	2337									

\* グラフは、無効票も含む返送数。

\* グラフの下部数字は、調査票発送からの「日数」を表す。

\* 点線矢印は、各発送書類に記載した調査期間を示す。

\* 土日・祝日は調査票の受け取りをしてない。グラフでは、調査票受け取りのない日については休み明けの受け取り件数を按分して作成した。

\* 25年度郵送調査と基本的な日程感は同じだが、督促調査票に記載する投函期限のみ変更している。25年度郵送調査では督促調査票発送の6日後(上記グラフ29日目)を投函期限としていた。

グラフに示されている通り、返送のペースは25年度郵送調査と概ね同じであった。ただし、25年度郵送調査を実施した際に、首都圏でも積雪(3~5日目と10~12日目)があった影響からか、6~8日目と13~15日目については、26年度郵送調査の返送数が若干上回った。

### 3 督促の効果

督促はがきと督促調査票により、計2回の督促を実施した。督促調査票を送付する際には、宛名ラベルにも「再度のお願い」と記載した。

最終的な返送数を100%とした場合の、段階ごとの返送数の推移は以下の通り。

#### < 発送数 >

- ・督促はがき（2/18（水）発送）：1,436通
- ・督促調査票（2/26（木）発送）：1,121通

#### < 発送の効果 >

- ・督促はがき到着の影響がある前までの返送数 1,693（返送のうち72.4%）
  - ・督促はがきの影響が出て、督促調査票の影響が出る前までの返送数 442（返送のうち19.0%）
  - ・督促調査票の影響が出ての返送数 202（返送のうち8.6%）※
- ※のうち、初回に発送した調査票（クリーム色）による返送は55票、再送した督促調査票（ピュアピンク色）による返送は147票。

#### < 性・年代別推移 >

- ・男性は、50歳代以上が先行して回収された。20歳代～40歳代は督促によって回収された。
- ・女性は、60歳代以上が先行して回収された。20歳代～50歳代は督促によって回収された。

性別	年代	【2/4～2/20】 調査票発送～ 督促はがきの効果が 出るまで		【2/21～2/28】 督促はがきの効果		【3/1～3/11】 督促調査票の効果		【3/12～3/16】 投函期限後～ 集計締切	
		回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
男性	20歳代	57	53.8%	34	32.1%	15	14.2%	0	0.0%
	30歳代	110	71.4%	29	18.8%	14	9.1%	1	0.6%
	40歳代	118	64.5%	42	23.0%	22	12.0%	1	0.5%
	50歳代	141	77.0%	29	15.8%	11	6.0%	2	1.1%
	60歳代	193	82.5%	23	9.8%	18	7.7%	0	0.0%
	70歳以上	207	84.1%	31	12.6%	7	2.8%	1	0.4%
	小計	826	74.7%	188	17.0%	87	7.9%	5	0.5%
女性	20歳代	68	64.2%	27	25.5%	10	9.4%	1	0.9%
	30歳代	108	65.5%	43	26.1%	13	7.9%	1	0.6%
	40歳代	130	67.0%	45	23.2%	18	9.3%	1	0.5%
	50歳代	137	70.3%	38	19.5%	18	9.2%	2	1.0%
	60歳代	176	77.2%	34	14.9%	15	6.6%	3	1.3%
	70歳以上	214	77.0%	40	14.4%	22	7.9%	2	0.7%
	小計	833	71.4%	227	19.5%	96	8.2%	10	0.9%
合計	1,659	73.0%	415	18.3%	183	8.1%	15	0.7%	

注）性別不詳及び年齢不詳は含まれないため、上記の各段階ごとの返送数の数値とは一致しない。

なお、25年度郵送調査よりも督促調査票の投函期限を延長したことにより、最終的な返送数は若干増えたが、督促調査票の影響が出てからの返送のペースは緩やかになっており、返送を遅らせた可能性があるかと推察される。

#### 4 返信先の違いによる効果

前述の通り、26年度郵送調査においては、調査票を発送する際（督促調査票を発送する際も同様）、サンプル番号が「偶数」の対象者には『内閣府宛ての返信用封筒』を、「奇数」の対象者には『調査会社宛ての返信用封筒』を封入した。返送数 2,337 票のうち、内閣府宛ての返信用封筒が 1,191 票、調査会社宛ての返信用封筒が 1,146 票と、内閣府宛ての返信用封筒の方が 45 票多く届いた。

返送先	男女計	男性	女性
内閣府宛て	1,191 (1,173)	564 (555)	627 (618)
調査会社宛て	1,146 (1,124)	569 (562)	577 (562)

( )内は有効回収数

#### 5 回収票の属性

##### (1) 性・年代別の有効回収率

抽出リストに対する、性・年代別の有効回収率は以下の通り。

##### 26年度郵送調査

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
男性	65.4%	64.2%	72.3%	81.0%	82.1%	82.3%	75.7%
女性	67.5%	78.6%	72.1%	85.2%	82.6%	70.6%	76.4%
計	66.8%	70.9%	72.2%	83.1%	82.4%	75.8%	76.6%

##### 25年度郵送調査

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
男性	57.8%	63.7%	68.7%	79.7%	81.5%	79.7%	73.3%
女性	67.7%	74.4%	71.8%	81.6%	89.2%	74.1%	77.3%
計	62.2%	69.3%	70.1%	80.5%	85.4%	76.7%	75.3%

##### 26年度面接調査

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
男性	39.8%	48.6%	53.1%	59.5%	65.2%	66.4%	57.1%
女性	40.9%	60.7%	64.9%	69.9%	72.1%	61.3%	63.0%
計	40.4%	54.5%	58.6%	64.8%	68.7%	63.6%	60.1%

以上の通り、25年度郵送調査に引き続き、26年度郵送調査においても、すべての性・年代で面接調査よりも有効回収率が向上した。また、26年度郵送調査においては25年度郵送調査と比較して、20歳代から50歳代の各年代において、有効回収率が向上した。

(2) 性・年代別の回収分布

有効回収数 (2,297 票) を 100% とした場合の、性・年代別分布は以下の通り。

26年度郵送調査

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
男性	4.7%	6.8%	8.1%	8.1%	10.3%	10.8%	48.7%
女性	4.7%	7.3%	8.5%	8.6%	10.0%	12.2%	51.3%
計	9.3%	14.0%	16.6%	16.6%	20.3%	23.1%	100.0%

25年度郵送調査

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
男性	4.1%	6.0%	9.5%	8.7%	10.3%	11.0%	49.6%
女性	3.8%	7.7%	7.6%	7.4%	11.7%	12.2%	50.4%
計	7.9%	13.7%	17.1%	16.1%	22.0%	23.2%	100.0%

26年度面接調査

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
男性	3.4%	6.1%	8.2%	7.4%	10.4%	11.4%	46.9%
女性	3.6%	7.2%	8.8%	8.8%	11.5%	13.2%	53.1%
計	7.1%	13.3%	16.9%	16.2%	21.9%	24.6%	100.0%

【参考】人口推計 平成26年9月1日現在

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
男性	6.2%	7.8%	8.9%	7.4%	8.5%	9.4%	48.1%
女性	5.9%	7.5%	8.6%	7.4%	9.0%	13.5%	51.9%
計	12.1%	15.3%	17.5%	14.8%	17.4%	22.9%	100.0%

6 代理回答の状況

郵送調査では、面接調査と違い本人確認をすることができないので、25年度郵送調査に引き続き、「誰が回答したのか」を確認する設問を入れ、本人回答と代理回答を区別して把握することを試みた。なお、前述の通り、回答選択肢については、25年度郵送調査の結果を踏まえて、一部変更をしている。

調査票問 39 (「今回の世論調査にご回答いただいたのは、どなた様ですか」) の回答結果は以下の通り。(3には記入不備の2件を含む。)

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 郵便宛名のご本人様          | 2,205 件 (94.4%) |
| 2. ご本人様のご意見を代理の方が記入   | 62 件 (2.7%)     |
| 3. 代理の方 (代理の方のご意見を記入) | 29 件 (1.2%)     |
| 無回答                   | 41 件 (1.8%)     |

「回答者が調査票に記入した性・年齢」と「住民基本台帳から抽出した際の性・年齢」を突き合わせた結果は以下の通り（10歳未満の差は一致とみなす）。

- ・性年齢が一致 2,271 件 (97.2%)
- ・性年齢が不一致 28 件 (1.2%)
- ・調査で性または年齢を無回答 38 件 (1.6%)

これらの情報をクロスしてみると、以下の通り。

回答結果	性・年齢一致※	性・年齢不一致	性・年齢無回答	計
郵便宛名のご本人様 (本人回答申告)	① 2,179	② 8	③ 18	2,205
ご本人様のご意見を代理 の方が記入(代筆申告)	④ 56	⑤ 5	⑥ 1	62
代理の方(代理回答申告)	⑦ 15	⑧ 12	⑨ 2	29
無回答	⑩ 21	⑪ 3	⑫ 17	41
	2,271	28	38	2,337

注) ⑦には、記入不備2件が含まれ、⑫には白紙提出11件が含まれる。

※ 年齢については、抽出名簿との照合の際、(年齢を「年代」で記入する人がいることを想定し)年齢差が10歳未満の場合を「一致」とした。なお、「一致」とした2,271票のうち、2,247票が±1歳以内、2,263票が±2歳以内であった。

今回の郵送調査では、問39での記入者の回答を判断基準とし、回収率を算出する際の有効・無効の区別は以下のように定めた。

①	本人回答申告	—	性年齢一致	有効
②	本人回答申告	—	性年齢不一致	有効
③	本人回答申告	—	性年齢無回答	有効
④	代筆申告	—	性年齢一致	有効
⑤	代筆申告	—	性年齢不一致	有効
⑥	代筆申告	—	性年齢無回答	有効
⑦	代理回答申告	—	性年齢一致	無効
⑧	代理回答申告	—	性年齢不一致	無効
⑨	代理回答申告	—	性年齢無回答	無効
⑩	無回答	—	性年齢一致	有効
⑪	無回答	—	性年齢不一致	有効
⑫	無回答	—	性年齢無回答	有効

「代理回答申告」があった票のみ無効票とした。なお、代理回答の判断基準とは別に、「白紙提出」の11件、「記入不備」の2件、計13件を別途無効票としている(うち記入不備の2件については代理回答申告と重複)。

上記を踏まえて、有効票とした票数は以下の通り。

	性・年齢一致	性・年齢不一致	性・年齢無回答	計
郵便宛名のご本人様 (本人回答申告)	① 2,179	② 8	③ 18	2,205
ご本人様のご意見を代理 の方が記入(代筆申告)	④ 56	⑤ 5	⑥ 1	62
代理の方(代理回答申告)	⑦ 0	⑧ 0	⑨ 0	0
無回答	⑩ 21	⑪ 3	⑫ 6	30
	2,256	16	25	2,297

## 7 その他

### (1) 自由回答欄の内容

調査票の最終ページの自由回答欄に何らかの記載のあった票は 176 件（無効票を含む返送数全体の 7.5%）であり、主な記入内容は以下の通り。

※ 25 年度郵送調査では 201 件（同 8.6%）。

内容	件数
調査全般に対する意見・感想	63 件 (36%)
質問文・選択肢についての質問・意見	34 件 (19%)
政府への意見	34 件 (19%)
調査辞退の理由など	20 件 (11%)
住所変更などの連絡事項	3 件 (2%)
その他	22 件 (13%)

(2) 受電件数と内容

依頼はがき・送信用封筒には内閣府及び調査会社、調査票には調査会社の連絡先を記載している。依頼はがき発送後から調査期間終了までの対象者からの電話での問い合わせ件数は以下の通り。

※ 25年度郵送調査では、内閣府宛てに16件、調査会社宛てに53件の入電。

内容	内閣府		調査会社		合計
	依頼はがき 発送後	調査票 発送後	依頼はがき 発送後	調査票 発送後	
調査実施の確認	5	2	0	0	7
調査について質問	1	2	2	1	6
調査拒否	0	0	6	6	12
病気・入院	2	1	5	9	17
督促の行き違い	-	1	-	11	12
その他	0	1	3	4	8
合計	8	7	16	31	62